

様式1 **令和7年度 清瀬市立 清瀬第五中 学校 学校評価計画**

<b>学校の教育目標</b>	<b>育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動</b>
・思索 明るくおもしろい人 ・和敬 深く静かに考える人 ・剛健 たくましく、がまん強い人	○育成を目指す資質・能力 ・自他の生命を尊重する心 等 ・課題解決のための思考力 等 ・健やかな心と身体 等 ○特色ある教育活動 ・地域連携、小中連携の取組 ・チャレンジルームとサポートルームと連携した教育 ・地域・社会の人材を活用した体験学習や講習会の実施
<b>目指す学校像(ビジョン)</b>	
【目指す学校像】 笑顔・あいさつ・ありがとう があふれる清瀬五中	
【目指す児童・生徒像】 自分で考えて行動する力 をもつ生徒	
【目指す教師像】 生徒が主役であることを大切に、感謝を忘れず、教師であることを誇りに思う教師	

<b>前年度までの学校経営上の成果と課題</b>
【成果】・専門家を招いての出前授業や講演会、農園活動などの体験学習を通して、豊かな心と体の育成を行うことができた。 ・地域・保護者・小学校と協力して「花のチカラ プロジェクト」などの活動を行い、連携をさらに深めることができた。
【課題】・ユニバーサルデザインを取り入れた授業展開や教室環境の整備を進めてきたが、ユニバーサルデザインについての説明が不足していたため、周知を図っていく。 ・体験学習を実施する際に、よりねらいや目的を意識して行うように計画をたてていく。

柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
安心・安全・信頼がある学校生活	思いやりの心で、一人一人の個性を認め合い、励ましあい、ありがとうがあふれる学校	いじめ・暴力・体罰を許さない学校をつくる	いじめ調査、学級環境適応感尺度(アセス)、各種アンケート等を実施し、生徒一人一人の実態を把握する	4 年間5回以上実施 3 年間4回実施 2 年間3回実施 1 年間2回実施	4 生徒の評価で満足度80%以上 3 生徒の評価で満足度50%以上80%未満 2 生徒の評価で満足度30%以上50%未満 1 生徒の評価で満足度30%未満
		「ありがとうの言葉」と「あいさつの習慣」で円滑な人間関係の形成を目指す	毎日のあいさつを習慣化し、感謝の気持ちや社会のルールの大切さ等を身に付けさせる	4 教員の自己評価で、肯定的回答90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的回答80%以上90%未満 2 教員の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満 1 教員の自己評価で、肯定的回答70%未満	4 生徒の自己評価で、肯定的回答90%以上 3 生徒の自己評価で、肯定的回答80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、肯定的回答70%未満
豊かな心と体の育成	明るく豊かな心をもち、何事にも全力で、自己実現を目指し、自己肯定感に満ち、笑顔が輝く学校	日々の学校生活で、生徒が主役となる場面を多くつくり、生徒の主体性を育む	学校行事や学級活動や総合的な学習の時間、生徒会活動等を通し、主体性や社会性を育む	4 関わる学習活動を年間3回以上実施 3 関わる学習活動を年間2回実施 2 関わる学習活動を年間1回実施 1 関わる学習活動を実施することができなかった	4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満
		専門家による講演や実技指導などの出前授業を実施し、生徒が体験的に学ぶ機会を設ける	出前授業や講演会などを各学年学期に1回以上実施していく	4 関わる学習活動を年間3回以上実施 3 関わる学習活動を年間2回実施 2 関わる学習活動を年間1回実施 1 関わる学習活動を実施することができなかった	4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満
確かな学力の定着	生徒が主体的、対話的に深く学び、生徒が問題解決を図る授業が展開される学校	ICT機器を活用した授業の展開	全教科でICT機器を活用した学習を展開し、授業内容の充実を図る	4 教員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教員の自己評価で、肯定的評価50%未満	4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満
		その時間で身につけるべき力が明確で、まとまりのある1単位時間授業の展開	授業のねらい・目標を明確にし、流れ、振り返りを視覚に訴えた授業を行う	4 教員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教員の自己評価で、肯定的評価50%未満	4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満
家庭・地域と連携した開かれた学校づくり	地域に愛され、保護者に親しまれ、心の落ち着きと潤いのある教育環境が整備された学校	学校からの情報を地域・保護者に積極的に発信し、地域に信頼され開かれた学校をつくる	毎日のホームページの更新や年間30回以上学校からの便りを発行して情報発信につとめる	4 学校からの便りの発行年間30回以上 3 学校からの便りの発行年間25回以上30回未満 2 学校からの便りの発行年間20回以上25回未満 1 学校からの便りの発行年間20回未満	4 保護者の評価で、肯定的評価90%以上 3 保護者の評価で、肯定的評価70%以上 2 保護者の評価で、肯定的評価50%以上 1 保護者の評価で、肯定的評価50%未満
		学校運営協議会に学校行事や授業を参観してもらったとともに、学校支援本部や保護者代表者会、地域と協働し、生徒の健全育成に努める。また、小学校との連携も進めていく	地域・保護者・小学校と連携した活動を学期に1回以上展開していく	4 連携した活動を学期に1回以上展開 3 連携した活動を年間2回実施 2 連携した活動を年間1回実施 1 連携した活動を未実施	4 教職員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教職員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教職員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教職員の自己評価で、肯定的評価50%未満
個に応じた支援の充実	個別の支援を必要とする生徒や不登校生徒等の視点にたった授業展開の工夫や教室環境の整備、支援の充実を図る	特別支援校内委員会・不登校対策委員会を中心として、情報の共有を密に行う。生徒一人一人の教育的ニーズを把握するとともに、特別な支援を必要とする生徒等の実態に応じた指導を実施し、個に応じた確かな学力を定着させる	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業展開や教室環境の整備を行う	4 教員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教員の自己評価で、肯定的評価50%未満	4 保護者の評価で、肯定的評価90%以上 3 保護者の評価で、肯定的評価70%以上 2 保護者の評価で、肯定的評価50%以上 1 保護者の評価で、肯定的評価50%未満
		サポートルームやチャレンジルームとの連携を密にとり、支援を必要とする生徒の情報を全教職員で共有し、組織的に対応する	サポートルームやチャレンジルームとの連携を密にとり、支援を必要とする生徒の情報を全教職員で共有し、組織的に対応する	4 毎週1回以上情報共有を実施 3 月に3回以上情報共有を実施 2 月に2回以上情報共有を実施 1 月に1回以上情報共有を実施	4 教員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教員の自己評価で、肯定的評価50%未満